

■20年以上常用してきた頭痛薬をやめられたケース

日本ホメオパシーセンター東京吉祥寺御殿山
JPHMA 認定ホメオパス No. 0011
HMA 認定ホメオパス No. 0926
ZEN メソッド修得認定 No. 0182
岡本 祥子 (おかもと さちこ)

クライアント：42歳 保育士 家族は夫と、子ども3人

主訴：頭痛。鎮痛剤を長期にわたり使用してきていることに不安がある。

主訴の状況：後頭部やこめかみ周辺が脈打つように痛む。頻度は1ヶ月に2-3回。酷い時は夜も眠れない。

症状は重い荷物を持つ、冷える、飲酒、強い臭いなどから引き起こされる。

摂っている薬はバファリン、EVE、ロキソニン、ポンタール、カロナール、ボルタレンなど。最も多く服用してきているのはロキソニン。

付随する症状：月経痛（ポンタール、ロキソニン他、市販薬を服用。）

タイムライン：

出生 微弱陣痛、回旋異常、吸引分娩

小学生頃 頭痛が始まる。

父の事業の失敗による借金やアルコール依存により、家庭内が不安定、両親が離婚。

高校生頃 頭痛薬の服用開始。以後、現在まで服用。

28歳 脳のMRI検査をするも原因不明。

31歳・36歳・40歳 出産

過去に10年間喫煙（現在はやめている）。飲酒は現在も。

過去に受けたセラピー：鍼治療を何度か試みるが、反動のように頭痛が悪化し諦めた。

1回目 2014年8月7日

レメディー：

朝1 MT)アヴィナサティールバ +Op. 30C +Morph. 30C +Inf-Lox 30C +Buff-D 30C +Nux-v. LM3

朝2 S-Chi-meg

夜 Arn. /Budd. 10M

頓服（頭痛） Mag-p. /Budd. 200C Nux-v. /Bell. 200C

2回目 2014年9月18日

- ・頭痛の兆候は13回ほど。2回ロキソニン服用したが、他は頓服で治まる。
- ・酷い時は後頭部から頭頂部にかけて締め付けられる、吐き気。目の奥も痛い。睡眠中悪化。
- ・自分でキットから Rhus-t. Arn. もとってみてそれで改善することもあった。
- ・子どもの頃から家族が機嫌を損ねるのを察知しやすく、仲裁しなければと思っている自分に気づいた。
- ・子ども同士の喧嘩がを見ると悲しくてやりきれない。

レメディー：

朝1 MT)カーティスマリアナス +Inf-Lox-D 6C +Nicot. 30C +Zinc. 200C +Kali-p. 200C +Nux-v. LM4

朝 2 S-Chi-meg

夜 アルポ +Sep. LM4 +Phos. LM2 +Rhus-t. LM4

寝る前 Sea-s. 10M/Mag-m. 10M

頓服（頭痛） 前回と同じ 必要な時に追加

3回目 2014年11月6日

- ・期間中一度も頭痛薬をとらずに済んだ。
- ・月経痛も軽減し、この2回は一度も月経痛で鎮痛剤をとらずに済んでいる。
- ・頭痛の兆候は毎日のようにある、その都度頓服をまめにとることで済んでいる。
- ・夫への腹立ちが酷くなっている。無理解で傷つく言葉を平気で言う態度に言い返す。
- ・父親が理想とかけ離れていた。父への失望と悲しみが大きいことに気づいた。
- ・父に失望した分、夫に期待したがまた失望、怒りにつながり、長男への怒りも増幅させていることに気づいた。
- ・ADHDの傾向のある長男に対してかつて幼稚園の先生の一方的な指導に従い無理強いしたことへの後悔と罪悪感が湧いた。

レメディー：

朝 アルポ +Sulph. LM1 +Ph-ac. LM1 +Stann. LM1

昼 MT)ミェルフォルユム +Tetan-V 10M +Morph. 10M +Op. 10M +Inf-Lox-D 30C +Arn. 6C

夜 アルポ +Bell. LM3 +Nux-v. LM3 +Ign. LM3

4回目 2014年12月25日

- ・肩胛骨の下端に赤い発疹が出てきた。
- ・期間中に頭痛が10回ほどあり、ロキソニンは1回服用。
- ・感情面では、過去に弟が母を困らせるため、自分がフォローしなければ、と思っていたことに気づいた。

レメディー：

朝 アルポ +Petr. LM2 +Kali-c. LM2 +Phos. LM2 +Aur. LM2 +Med. LM3

昼 MT)ミェルフォルユム +Carb-v. 30C +Arn. 30C +Colch. 6C +Chel. 30C +Lach. 30C

夜 アルポ +Spig. LM4 +Nux-v. LM4 +Sep. LM4 +Coloch. LM4

頓服（頭痛） 以前からのものに加え、

Mag-p. 10M/Budd. 10M Nux-v. 10M/Bell. 10M Arn. 10M/Rhus-t. 10M

5回目 2015年3月5日

- ・肩胛骨周辺の湿疹がどんどん増悪、下方に広がり猛烈な痒み。
- ・年末、遊園地で冷えたことから頭痛、その時のみ薬服用。
- ・200Cの頓服で効かない時は10Mで改善した。また、それでも効かない時は自分でキットから選択。
- ・感情面では、息子に自分の願望を押しつけなくなった。
- ・母親から認めて欲しかった思いに気づく。

レメディー：

朝 アルポ Nat-c. LM3 +Phos. LM3 +Psor. LM4 +Med. LM4

昼 MT)カデ`イアスマリアナス +Inf-Lox-D 30C +St-C-D 30C +Vol-D 30C +Buff-D 30C +Chel. 6C

夜 アルポ +Spig. LM5 +Sep. LM5 +Chin. LM5 +Nux-v. LM5

6回目 2015年5月7日

- ・湿疹が背中から下、胸、喉元、首の後ろ、耳の下や額下腺、脚に広がる。
- ・皮膚の表面より奥深い所が痒い。痒みで眠れないことも。
- ・頭痛は何度かあったが頓服で治まった。
- ・夫や息子に腹が立つことが大幅に減った。

レメディー：

朝 アルポ +Phos. LM4 +Med. LM5 +Sil. LM4 +Zinc. LM4

昼 MT)スーヤ +Inf-Lox-D 6C +Vol-D 30C +Diph. 200C +Tetan-v. 10M +Antibiot-C-D 30C

夜 アルポ Sep. LM6 +Carb-v. LM6 +Staph. LM6 +Dios. LM6

7回目 2015年7月16日

- ・頭痛は2ヶ月間なかった。
- ・皮膚湿疹は場所が次々移り、現在は腰の後ろ、臀部、脚。搔くと出血。以前酷かった身体の前側や肩胛骨は落ち着いてきた。
- ・痒みで夜中に目が覚めることはなくなった。

レメディー：

朝 アルポ +Psor. LM6 +Ferr. LM5 +Zinc. LM5 +Sulph. LM5 +Plb. LM5

昼 サポートφ肝臓 +Cortis. 200C +Bapt. 200C +Inf-Lox-D 30C +Vol-D. 30C +Thym-gl. 12X

夜 アルポ +Merc-sol. LM7 +Dulc. LM7 +Staph. LM7

8回目 2015年9月13日

- ・全身の湿疹は落ち着いた。痒みは深いところから表面的なものに変わり、その後治まった。
- ・皮膚が落ち着くのと入れ替わりで一時的に頭痛が数回起こり、その都度頓服で対処した。

レメディー：

朝 アルポ +Sulph. LM6 +Caust. LM6 +Phos. LM6 +Psor. LM7

昼 MT)タグカム +Inf-Lox-D 6C +Vol-D 30C +RA Fukushima 30C +Ferr-p. 30C +Arn. 6C

夜 アルポ +Nux-v. LM8 +Rhus-t. LM8 +Sep. LM8

寝る前 Moonst-E 10M

現在

- ・頭痛薬なしで1年以上が経過した。
- ・頭痛の頻度がかなり減った。たまにあっても頓服で改善している。

【考察】

- ・皮膚症状が一時激しくつらい思いをしたが、これが重要なデトックスである、ということの説明し、理解を得ることで乗り切ることができた。その結果頭痛の大幅な改善につながった。
- ・頭痛が頓服で楽になる自信がついたことで、断薬することができた。頭痛自体も大幅に減った。
- ・最初の相談会から頓服を数種類出し、兆候の段階からリピートすること、それで治まらなければ薬をのむこと、頓服は追加できると伝えた。結果、不安が軽減し、安心して取り組むことができた。
- ・頓服の他、急性症状の際にはホメオパスのアドバイスを受れたり、自分でレメディーを調べてキットからとることも推奨した。
- ・当初はあまり認識していなかったインナーチャイルドの問題も途中で次々と浮上し、それを解決していくことで全人的に良い方向に向かった。

カテゴリー：[医原病・薬害]